

2023 年度

公益財団法人東京子ども図書館

# 年次報告

〒165-0023 東京都中野区江原町 1-19-10

2024 年 7 月発行

Tel. 03-3565-7711 Fax. 03-3565-7712 URL <https://www.tcl.or.jp>

## 変化は突然に……

理事長 張替恵子



去る 5 月 10 日午前、図書館前の通りの向こうから、突然、つんざくような機械音が鳴り響きました。2 階の事務室にいた者たちが窓へ駆け寄ってみますと、いつも借景を楽しませていただいていた向かいのお宅の庭木が、次々と電動のこぎりで切り倒されているではありませんか！ 工事は午後じゅう続き、夕方には、伐採された幹や枝が束ねられ、廃棄されるばかりになっていました。その後、数日かけて整地が進み、5 月末には、アスファルトに覆われたその区画が、コイン・パーキングになるという知らせが届きました。

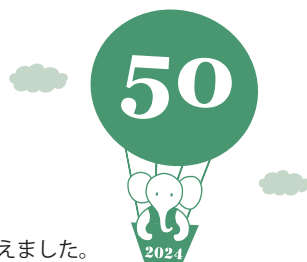
1997 年、ここに「私たちの建物」が建ってしばらくたった、初夏のある日、その庭にあった高いビワの木、熟したオレンジ色の実に、明るい緑色をした鳥（のちに野生化したワカケホンセイインコと判明）が群がり、この世のものとは思われない光景が繰り広げられるのを、夢見心地で眺めたものでした。一本の木に紅と白の花が咲く梅の香は、毎春のたのしみでした。

変化は、なんの前触れもなくやってくる……。やるせない想いで思い浮かべたのは、ほかでもない『ちいさいおうち\*』。開発の波にのまれた一軒の家が、田園へ移築され、平安を取り戻すまでを描いた絵本です。実は、この絵本を、新館建設時に、松岡理事長（当時）が「こんなうちのような図書館がよい」と、設計者の草野光廣さんに手渡されたそうです。草野さんは、孫の孫のそのまた孫の代までしっかり建っているおうちを見習って、長持ちして、年と共に味わいのある建物になっていくように、心を砕いてくださいました。

それから四半世紀。もう新館とはいえなくなったこの建物にも、変化の時が訪れました。気候変動による高温多湿や、コロナ感染による人流の減少などが影響し、資料にカビが生える事態が発生、建物全体の使い方を見直すことになったのです。空調設備を万全にするのはもちろん、資料室の資料の一部を 1 階ホールに移し、集会機能を分散させる、ネット配信のための設備を充実させる等々、目下、改修の見取り図を作成中です。松岡享子名誉理事長にまつわるコーナーも設ける予定です。改修工事は来春を目指しています。そのためには、再三のことではありますが、みなさまのお力添えをお願いすることになるでしょう。装い新たになった建物が、訪れる人々にとってより便利で居心地よく、そして今までと変わらず元気の出る場所になるよう力を尽くしますので、どうぞ、引き続きお見守りください。

\*バージニア・リー・パトーン文・絵 石井桃子訳 岩波書店

# 東京子ども図書館 設立 50 周年記念企画



東京子ども図書館は、2024年1月31日に財団設立50周年を迎えました。記念企画の皮切りとして、児童室の「読書キャンペーン」と「記念おはなし会」、「おとなのためのお話会」の特別プログラムを実施しました。

## 児童室 読書キャンペーン・記念おはなし会

秋から読書キャンペーン「あのとし このほん 50ねん」を開催しました。当館設立の1974年以降に出版された本を、年ごとに5冊、計250冊を選んで展示。子どもたちは各年につき1冊本を読むと、カードにスタンプをおしてもらえます。律義に古い順に読んでいく子、自分の生まれた年の本を選ぶ子などさまざまでしたが、選んだ後は、古い新しいは関係なく、1冊1冊の本をたのしんでいました。最高記録は小学校3年生のSちゃん、41冊の本を読みました。

(11/10～3/29・参加者87人)

設立記念日の1月31日には、ささやかな記念おはなし会とミニバザーを開催しました。お話会のプログラムは『うれしいさん かなしいさん』のペープサート特別バージョンの上演と、当館の歴史に関するクイズ。しめくくりにはくす玉を割ってお祝しました。「おはなしのへや」を会場にしたミニバザーでは、熱心に品物を選ぶ子どもたちの姿が見られました。

(お話会参加者：子ども22人、大人14人 バザー来場者：子ども24人)



読書キャンペーンの様子



上：記念おはなし会 下：ミニバザー

## おとなのためのお話会 50周年記念プログラム

2月より、50周年記念プログラムとして、設立当初より続く「お話の講習会」の修了生を、ゲストの語り手としてお招きすることにしました。各期より1、2名ずつ、修了お話の会で語ったお話などを語っていただいています。プログラムの最後には、語ったお話にまつわるエピソードや、講習会の思い出、修了後の語り手としての経験などもお話しいただいています。今後もおたのしみに。

(2/24・44名、3/15・40名)

● 今後予定しているおもな50周年企画は以下の通りです。

- ・ 当館のあゆみを辿る記念の冊子製作
- ・ お話の普及に焦点を当てた映像と録音資料の製作と上映会（11月18日 なかのZEROホール）
- ・ 当館の将来を展望するための座談会、連続講座、読書会の開催
- ・ 地階およびホール改修のためのクラウドファンディングの実施
- ・ (公財)伊藤忠記念財団との協働による、小さな図書室のための手引き製作
- ・ 新版『お話のリスト』、『おはなしのろうそく34』等の出版
- ・ 機関誌「こどもとしゃかん」での特集
- ・ 記念グッズの製作

また、11月にギャラリーエークウッド（東京・江東区）にて「本とおはなしの楽しさを子どもたちに 松岡享子からの贈り物」展も予定されています。

## 一年のあゆみ

## I 概況

**L** = ライブ配信

**R** = 録画配信

### 4月

- ・第39期お話の講習会開講（14日）
- ・おとなのためのお話会（25日、他10回）
- ・機関誌「こどもとしゃかん」刊行（20日、7/20、10/20、1/20）

### 5月

- ・関谷裕子氏講演会（18日、25日）**L R**

### 6月

- ・中野区立江原小学校でお話（14日、他6回）
- ・ブックトークカフェ・なないろ（24日**L**、10/28、1/27**L**）

### 7月

- ・杉並区立桃井第二小学校でブックトーク（8日）
- ・愛心幼稚園でお話（11日）
- ・短期お話の講習会・初級コース（13日、10/12）
- ・第38期お話の講習会合宿（22日、23日）
- ・児童室納涼お話会（26日、他5回）

### 8月

- ・ブックトーク祭り（4日、5日）**L R**
- ・ブックトーク・ワークショップ2023（18日、19日）

### 9月

- ・筑波大学より実習生を受け入れ（12日～30日）
- ・第39期お話の講習会合宿（16日、17日）

### 10月

- ・学習院初等科でお話（27日）

### 11月

- ・バザーコーナー、子どもの本蚤の市開設（1日～3/1）
- ・聖心学園幼稚園でお話（10日）
- ・江古田区民活動センターでお話（25日）
- ・渡辺鉄太氏講演会（30日）

### 12月

- ・池田正孝氏スライド&トーク（1日～1/9）**R**
- ・渡辺鉄太氏講演会（15日～1/9）**R**
- ・新版『お話について』刊行（15日）
- ・かつら文庫クリスマス会（16日）
- ・児童室クリスマスお話会（20日、23日）

### 1月

- ・練馬区立豊玉東小学校でお話（23日）
- ・東京子ども図書館設立50周年  
児童室記念おはなし会・ミニバザー（31日）

### 2月

- ・第38期お話の講習会 修了お話の会（11日）

### 3月

- ・関谷裕子氏講演会（1日～5/6）**R**
- ・かつら文庫ひなまつり（2日）
- ・2019年度児童図書館員のための初級研修プログラム  
ホームカミングの会（19日）
- ・賛助会員の集い（30日）**L**

新型コロナウイルス感染症の扱いが、5月より5類に移行したことを受け、通常運営に向けて試行錯誤を重ねる1年となりました。

児童室とかつら文庫では、制限していたサービスを順次再開。お話会はコロナ前のように「おはなしのへや」で開催するようになり、「わらべうたの会」も定期的に行うようになりました。11月から3月までは、読書キャンペーン「あのとしこのほん50年」（→2頁）を行いました。徐々に子どもとの距離がコロナ前の状態に戻り、スタッフが読み聞かせる姿が日常の光景になりました。

夏の恒例イベント、ブックトーク・ワークショップは4年ぶりに対面形式で実施、「おとなのためのお話会」は定員を段階的に増やしました。一方、コロナをきっかけにZoomの活用が



ブックトーク・ワークショップ

定着し、今年度も講座や講演会等をライブと録画で配信しました。全国各地から多くの方々にご参加いただくことができました。講師派遣には、青森、岩手、福井、長崎等、遠方からも含め61件のご依頼があり、コロナ前の実績とほぼ同程度となりました。

SNSによる発信も活発で、Instagramは11月に、フォロワー数が10,000人を超えました。日々の活動のご報告のほか、財団設立記念日の2024年1月31日に向け、当館の歩みを辿るカウントダウンの投稿も行いました。

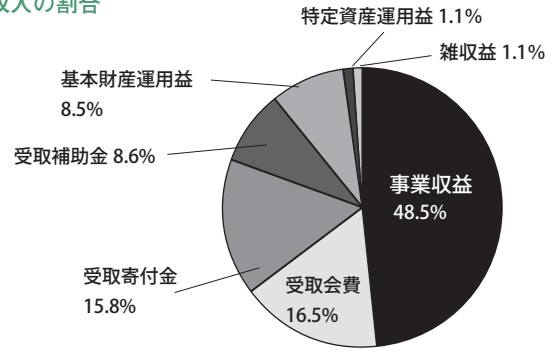
各種事業が活発に行われた一方で、印刷製本費の値上がりや消費税増税、建物・設備の維持費増大等が影響し、財政面では厳しい状況が続いています。当館はこれまで、消費税増税時には価格を据え置いてまいりましたが、法人全体の利益の赤字傾向を改善するために、講演・講座、施設利用料、かつら文庫観覧料等の価格改定を行いました。

事務の体制については、9月より、高梨純税理士事務所へ経理業務の一部を委託しました。専門家による丁寧なご指導のもと、経理業務の整備を進めつつあります。また、事務局の組織改編に伴い、11月より、池添トモ子が事務局長に、清水千秋が事業部長に就任しました。

次の50年に向け、安定した財団運営をするにはどうすべきか、職員皆で知恵を出し合い、取り組んでまいりたいと思います。

### Ⅲ 財務状況について

#### ●収入の割合



#### ■財務諸表

貸借対照表 2024年3月31日現在 (単位:円)

科目	金額
<b>I 資産の部</b>	
1. 流動資産	
現金預金	52,047,876
未収金	3,226,477
前払金	3,333,580
販売用図書	26,419,732
販売用機関誌	2,727,969
<b>流動資産合計</b>	<b>87,755,634</b>
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
土地	361,224,400
建物	176,543,276
著作権	39,253,978
定期預金	40,000,000
<b>基本財産合計</b>	<b>617,021,654</b>
(2) 特定資産	
子どもたちに本を贈ろう基金	1,927,883
本よんでうれしいさん基金	18,341,906
公益事業運営積立資産	101,808,061
<b>特定資産合計</b>	<b>122,077,850</b>
(3) その他固定資産	
建物附属設備	4,326,840
構築物	93,428
什器備品	601,194
図書	53,587,625
ソフトウェア	875,600
<b>その他固定資産合計</b>	<b>59,484,687</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>798,584,191</b>
<b>資産合計</b>	<b>886,339,825</b>
<b>II 負債の部</b>	
1. 流動負債	
未払金	1,598,319
未払消費税等	1,105,200
前受金	4,750,014
前受会費	10,947,340
預り金	1,169,821
<b>流動負債合計</b>	<b>19,570,694</b>
<b>負債合計</b>	<b>19,570,694</b>
<b>III 正味財産の部</b>	
1. 指定正味財産	
寄付金	20,269,789
<b>指定正味財産合計</b>	<b>20,269,789</b>
2. 一般正味財産	
<b>正味財産合計</b>	<b>866,769,131</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>886,339,825</b>

#### ■都道府県別 賛助会員数・機関誌定期読者数

(2024年3月31日現在)

●賛助会員数および機関誌定期読者数 (当館から直接発送)					
都道府県名	賛助	読者	都道府県名	賛助	読者
北海道	21	47	滋賀県	6	18
青森県	9	13	京都府	18	41
岩手県	15	24	大阪府	59	138
宮城県	19	31	兵庫県	57	143
秋田県	4	3	奈良県	61	87
山形県	12	18	和歌山県	8	19
福島県	9	17	鳥取県	11	18
茨城県	35	51	島根県	33	77
栃木県	32	43	岡山県	11	25
群馬県	16	13	広島県	33	56
埼玉県	130	188	山口県	13	26
千葉県	133	192	徳島県	0	3
東京都	477	668	香川県	4	14
神奈川県	193	264	愛媛県	2	9
山梨県	9	16	高知県	13	20
長野県	47	67	福岡県	37	60
新潟県	28	46	佐賀県	0	0
富山県	9	16	長崎県	8	16
石川県	17	27	熊本県	7	19
福井県	22	24	大分県	11	19
岐阜県	7	22	宮崎県	7	11
静岡県	71	106	鹿児島県	11	22
愛知県	52	89	沖縄県	6	8
三重県	9	20	海外	3	13
<b>合計</b>			<b>1,795</b>	<b>2,867</b>	

●書店経由の機関誌定期購読者数 685 (690)

# 正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日(単位:円)

科目	当年度
<b>I 一般正味財産増減の部</b>	
<b>1. 経常増減の部</b>	
(1) 経常収益	
①基本財産運用益	8,147,939
基本財産受取利息	3,600
基本財産受取印税	8,144,339
②特定資産運用益	1,078,255
特定資産受取配当金	1,078,255
③受取会費	15,791,207
賛助会員受取会費	15,791,207
④事業収益	46,469,685
研修事業収益	8,697,320
施設事業収益	407,700
著作権使用収益	1,160,074
出版事業収益	35,893,769
取材・資料協力事業収益	310,822
⑤受取補助金等	8,259,322
受取国庫補助金	500,000
受取地方公共団体助成金	0
受取民間助成金	7,759,322
⑥受取寄付金	15,137,129
受取寄付金	12,587,019
受取寄付金振替額	2,276,736
図書受贈額	273,374
⑦雑収益	1,019,921
受取利息	610
雑収益	1,019,311
<b>経常収益計</b>	<b>95,903,458</b>
(2) 経常費用	
①事業費	<b>98,061,247</b>
役員報酬	5,581,440
給料手当	40,059,558
退職給付費用	1,501,740
法定福利費	7,950,597
福利厚生費	38,032
会議費	163,411
旅費交通費	1,300,935
通信運搬費	4,887,228
減価償却費	6,329,100
図書費	21,554
図書寄贈費	2,231,020
消耗品費	572,408
修繕費	260,286
印刷製本費	13,028,577
光熱水料費	1,361,874
保守費	906,943
賃借料	798,340
保険料	147,767
諸謝金	701,209
租税公課	5,739,500
支払手数料	1,359,516
諸会費	53,200
広告宣伝費	221,342
支払助成金	164,238
原稿料・印税	764,630
販売用図書仕入費	1,006,606
委託費	883,707
雑費	26,489

科目	当年度
②管理費	<b>10,784,148</b>
役員報酬	558,600
給料手当	2,775,946
退職給付費用	111,299
法定福利費	589,249
福利厚生費	2,818
研修費	60,984
会議費	8,680
渉外費	55,249
旅費交通費	83,045
通信運搬費	52,851
減価償却費	912,067
消耗品費	42,067
修繕費	19,290
印刷製本費	21,494
光熱水料費	85,784
保守費	67,217
賃借料	391,368
保険料	3,838
諸謝金	4,718,264
租税公課	2,394
支払手数料	42,367
諸会費	83,150
委託費	46,528
雑費	49,599
<b>経常費用計</b>	<b>108,845,395</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 12,941,937
特定資産評価損益等	19,003,693
<b>評価損益等計</b>	<b>19,003,693</b>
当期経常増減額	6,061,756
<b>2. 経常外増減の部</b>	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	824,006
電話加入権評価損	0
<b>経常外費用計</b>	<b>824,006</b>
当期経常外増減額	△ 824,006
税引前当期一般正味財産増減額	5,237,750
法人税等	252,700
当期一般正味財産増減額	4,985,050
一般正味財産期首残高	841,514,292
一般正味財産期末残高	846,499,342
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	
受取寄付金	3,998,590
受取寄付金	3,998,590
一般正味財産への振替額	△ 2,276,736
寄付金	△ 2,276,736
当期指定正味財産増減額	1,721,854
指定正味財産期首残高	18,547,935
指定正味財産期末残高	20,269,789
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>866,769,131</b>

特定資産の株式評価額の増加により、辛うじて黒字決算となりましたが、出版事業が新刊の準備期間であったことなどによる事業収益の減少で、大変厳しい収支となりました。経費については、よく節減に励んだ1年でしたが、今後は施設改修等、大きな出費が予想されます。ひとつひとつ着実に収益を積み上げ、収支の改善に努めてまいります。